

	前回（2022年1月判断）	2022年4月判断	前回との比較*
北海道	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直しの動きがみられている	新型コロナウイルス感染症の影響から下押し圧力が強い状態にあり、持ち直しの動きが <u>一服している</u>	⇓
東北	新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が落ち着く中、一部に持ち直しの動きがみられている	持ち直しの動きが <u>一服している</u>	⇓
北陸	持ち直している	持ち直しの動きが <u>一服している</u>	⇓
関東甲信越	サービス消費を中心に感染症の影響が幾分和らぐもとで、持ち直している	感染症の影響などから弱い動きがみられるものの、 <u>基調としては持ち直している</u>	⇓
東海	持ち直している	持ち直しの動きが <u>一服している</u>	⇓
近畿	消費への新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、全体として持ち直している	消費への新型コロナウイルス感染症の影響がみられているものの、全体として持ち直し <u>基調にある</u>	⇓
中国	持ち直しの動きがみられている	<u>サービス消費を中心に下押し圧力が続いているものの、緩やかな持ち直し基調にある</u>	⇒
四国	新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直しているものの、一部に <u>新型コロナウイルス感染症等による下押しの影響がみられる</u>	⇓
九州・沖縄	新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直している	持ち直しの <u>ペースが鈍化している</u>	⇓

*前回との比較のク、⇓は、前回判断に比較して景気の改善度合いまたは悪化度合いの変化を示し、前回に比較し景気の改善・悪化度合いが変化しなかった場合は、⇒となる。

[日本銀行 地域経済報告](#)